

令和5年度（2023年度） 第6回函館市観光基本計画策定検討委員会 議事録	
開催日時	令和6年（2024年）3月7日（木）13:30～14:30
開催場所	サン・リフレ函館 2階 大会議室
出席委員	奥平委員長，古地委員，奥野委員，中島委員，西村委員，一戸委員，渡部委員，纒坂委員，織田委員，土田委員
欠席委員	飯野委員
事務局ほか	田畑副市長，観光部長，観光企画課長，観光誘致課長，国際観光課長，企画担当主査，企画担当主任主事
議題	函館市観光基本計画（案）について

■ 議事概要

討議に先立ち、事務局より函館市観光基本計画（案）へのパブリックコメントや経済建設常任委員会、本委員会からの意見の反映状況について、資料1～4に沿って報告。事務局案について、本委員会での議論の内容を十分に反映しているとして承認された。その後、本委員会から函館市への意見書（資料5）の手交式を実施した。

委員の主な意見は以下のとおり。

- 表紙について、基本理念のイメージが例示されていて分かりやすくなった。函館を知らない人でも行ってみたいと思うような明るい表紙になったと思う。
- 色分けするなど素案から見やすさが改善された。また、写真を増やし、事例を掲載するなど、分かりやすくなった。
- 事業者としては、観光客が増えていくというような期待感を持てる。昨今の人手不足の解消についても、市民の方がもう一步踏み込んで興味を持っていただけるのではないかと期待が出来る内容になったと思う。
- 観光事業者にとって分かりやすいものとなった。観光産業は経済波及効果が高いということも非常によく表現出来ていて素晴らしい。これからの5年間で観光が良くなりそうだった。
- 今後どのように推進、発展していくか、市民が函館愛を持って進めていけるか。やっとなスタート。
- 経済建設常任委員会やパブリックコメントの資料を見ると、この計画の基本理念や基本方針を概ね理解いただけ、その上で具体的な施策に目が向いていると感じた。それは非常に良いこ

と。これからどう施策に反映させていくか、市民、業界の皆さんもそちらの方向に目を向けていただけるかと思う。

- 表紙の理念の文言が画像と重なって視認しづらくなっているため、改善されたい。
- 表紙の下部の画像について、「海の幸をもう一品」と「函館の味覚をもう一口」がどちらも海産物なのが気になる。
- 表紙のイカの写真について、不漁の現状の中で今後5年間推していけるのかという点で若干不安がある。
- ユニバーサルデザインの観点から考えると、日本語ネイティブではない在住外国人にとって読みづらいフォントや和暦が使われているため、もう少し改善の余地がある。
- 11ページの「観光産業」と「他産業」に関する文字に白色を使っているが、背景色が薄いため少し見づらい。
- 11ページ右の市民と観光客の関係を表現している箇所について、観光客から市民に対し「感謝」との文言があるが、感謝されることを求めて「おもてなし・情報発信」を行うというような、取引のように捉えられてしまう危険がある。観光客と市民へ交互に向かう矢印は削除し、中央の「交流」のサークルに「おもてなし・情報発信」の文言を追加されたい。
- 掲載されている写真について、市民以外の方が見た時にも何の写真か分かるよう、全てにキャプションを入れた方が良いのではないかと。
- 章ごとの表紙がほぼ秋の写真となっているのは、あたたかみを持たせたかったのか。個人的には夏の写真も良いと思う。
- 最終ページの「計画策定までの経緯」にある委員名簿は五十音順にしてはどうか。また「市が指定する委員」と「公募委員」の表示は不要だと思う。